

ふらっとホーム 2014 in 北区

開催 報告

市民の皆さんと市長が市政やまちづくりについて気軽に語り合う「ふらっとホーム」。北区では6人の方に参加いただき、平成26年10月6日に札幌サンプラザで開催しました。今月はその対話の一部をご紹介します。

ふらっとホームに関するお問い合わせ
市民の声を聞く課 ☎ 211-2045
この記事に関するお問い合わせ
北区総務企画課広報係 ☎ 757-2503

テーマ1 町内会や地域での活動について

市の広報誌やホームページを見ただけでは、地域でボランティア活動をするための具体的な手続きの方法が分かりにくいと思います。どの年齢層にも分かりやすいように情報発信すれば、ボランティア活動の希望者はもっと増えるのではないのでしょうか。



カマロフ・アブドゥル
アジズさん・20代

母国ウズベキスタンでは、隣近所30戸くらいはお互いの家族のことを知っていて、一丸となってさまざまなイベントを企画するなど、地域のつながりがとても強いです。また、地域活性化やボランティア活動に取り組む企業も多く、それらの企業を支援するため、国でもいろいろな対策がなされています。



おおつかはるこ
大塚晴子さん・20代

他都市の災害時における地域の助け合いを見ても、地域の人と人とのつながりはとても大切だと感じます。近年、ライフスタイルや価値観が多様化していますが、若い世代の方にも少しずつでも地域に目を向けてもらい、より多くの方に地域活動に参加してほしいです。



市長から

より多くの方に町内会に加入していただき、地域のことは自分たちでやるという風を育てていくことが、今後のまちづくりにおいて大事な課題だと考えています。

まちづくりセンターや区役所では、地域の人と人を結びつけたり、活動したい人のパワーを生かす場所を探したりするお手伝いをしていますので、ぜひ活用してください。



さとうふみこ
佐藤富美子さん・40代

テーマ2 地震・火災・水害などの防災対策について

災害時に、地域のどのの方に手を差し伸べなければならないのか、事前に把握しておく必要があると思います。また、津波などの水害対策として、高層ビルを避難場所として活用できるようにすることも必要ではないでしょうか。



さらたに なぎさ
更谷奈樹沙さん・30代

インターネットによる情報発信は大切ですが、災害時、アクセスが殺到して情報が入手できないなど、その情報が活用されなければ意味がありません。地域活動で生まれる人のつながりにより、情報を共有することも大切だと思うので、今後、地域の防災訓練などに参加したいと考えています。



にしだひろし
西田弘さん・70代

日ごろから、学生を含めた若者と地域の方々が防災について話し合い、いざというときに協力し合える体制をつくっておくことが大事だと思います。行政としても、若者の防災意識が高まるような魅力的な取り組みを行ってほしいです。



市長から

大規模な災害では、行政だけの力では救出できる人数に限界があり、他都市の実例を見ても、住民同士の助け合いにより多くの方が救出されています。

いざというときに備え、地域の中で、障がい者や要介護者といったサポートを必要とする方がどこにいるのか、あらかじめ知っておくことがとても大事だと認識しています。



いの まきひろ
猪野真大さん・10代